

神戸市老人福祉施設連盟 第三者評価【基本情報シート】

施設名	特別養護老人ホーム パーマリィ・イン中道	定員	50名
設置・運営(法人名)	社会福祉法人 報恩会	開設	1998年12月1日
所在地	〒652-0801 神戸市兵庫区中道通6丁目1-33	TEL	078-575-2500
交通アクセス	JR「兵庫」北へ徒歩10分、「大開」北へ徒歩5分、神鉄・地下鉄「湊川」西へ徒歩10分	URL	http://www.houonkai.jp/

■法人の事業体制

1 同一法人内での実施事業	
地域密着型介護老人福祉施設 介護型ケアハウス 短期入所生活介護 通所介護 訪問介護 小規模多機能型居宅介護 居宅介護 地域包括支援 見守り支援事業 LSA事業	
介護・看護職員数等(短期入所併設の所は合算した数)	
●介護・看護職員1名に対する入所者	3 名
●介護・看護職員平均勤続年数	4 年
●介護・看護職員平均年齢	34 歳
●人材確保と育成の方針	
毎年度、新卒採用枠を設け福祉フェア等に参加し採用しています。 高卒の新入職員も毎年1～2名採用。フレッシュな息吹きと入職して数年続く先輩職員が介護を伝え教える事による「絆コミュニケーション」を構築してきています。 ①成長 ②貢献 ③つながり ④チャレンジ ⑤愛 を達成できた職員を考課評価を用い信頼を築いている。ストイックな研修参加や外部研修を出来る限り取り入れ他施設職員とのセッションを通し個々に仕事へのマネジメントを考えていきます。 介護技術など不安な職員は研修へ参加し自己の仕事に対する不一致感を解消していきます。 専門資格取得(国家資格等)試験対策研修にも施設研修として参加します。	
3 施設の方針・理念	
神戸市の「高齢者福祉の複合拠点」にふさわしい先進的な取り組みを積極的に推進します。高齢者福祉サービスが一体化することで生まれるメリットや相乗効果を十二分に追及します。 地域の高齢者コミュニティの核として積極的に役割機能を進め、心の通い合うふれあい交流広場を提供します。心の両面から、高齢者に適切な種々のケアプログラム等の福祉サービスを提供し豊かな笑いの多い、安全・安心なシニアケアライフづくりのお手伝いをします。 地域で介護をする方々の教育支援など、未来のノーマライゼーション社会実現のために地域住民と共に高齢者福祉を実践します。人としての尊厳を守り、プライバシーの保護に努め、環境作りに取り組み、職員の資質向上に努めます。地域及び家族様と連携を大切にします。	
4 施設の特徴	
高齢者介護支援センター、介護老人福祉施設、シルバー住宅という高齢化社会に欠かすことのできない3つの機能が一体化した「高齢者福祉の複合拠点」として、地域の皆様に親しまれ、地域とともに共生し、あたたかいふれあい広場を創造していきます。 市街地にあり交通の便も良く多くの面会者が来園されています。 併設のあんしんすこやかセンターがあり、地域や区との情報や連携も充実しており、地域の認知度も非常に高く開かれた施設です。	
5 ボランティア・研修・実習生の受け入れ	
神戸医療福祉専門学校・神戸看護大学・社会福祉士過程、初任者研修の実習生を随時受け入れています。 ボランティアの方(喫茶、生け花、レクリエーション、シルバーカレッジ等)は、月に数回来ています。 喫茶ボランティアは、地域の中道婦人会・中道ふれまち協議会の方々が精力的にして頂いています。 2014年は年間延べ400人にお越しいただきました。	
6 地域との連携(施設開放、協同行事等)	
ボランティア、地元住民、湊川中学校等のトライやるウィークなど、を積極的に受け入れます。老人会、婦人会等の主催行事へも積極的に参加したり、施設運営上支障のない限り施設空間を提供します。 16年間で敬老会を32回開催するなど、地元住民との交流に努めています。 夏祭り、秋のバザー、クリスマス会など季節に合わせ地域と協同実施し、多くの地域住民の方々と毎年交流をしてきました。	
7 居室形態	
●種類	<input checked="" type="checkbox"/> 従来型 <input type="checkbox"/> 個室ユニット型
●料金	居住費 320円 食費 300円
8 家族との協力(家族会・行事への参加等)	
年間通じ夏祭り8月第三土曜や、チャリティバザー祭など大きな行事開催では、ご家族に事前案内参加を呼びかけ行事を共に楽しむ企画を実施しています。遠方などでご家族がお越しいただけ場合でもスタッフと一緒に楽しんで頂いています。	

■サービス提供体制

入所条件	神戸市の入所指針を基本とし、緊急性の高い方から入所して頂いています。現状の健康状態を把握するため、入所前に健康診断書をご提出して頂き、ADLの状態に対応できるように入所準備を進めています。
施設内自由度	2階は特別養護老人ホーム、1階はデイサービスです。玄関からフロアー、各階も全て段差なくバリアフリーです。エレベータ設置。
居室の環境	個室(14)、2人部屋(6)、4人部屋(6)で、プライベートカーテンでプライバシー確保しています。各居室ごとに洗面台とトイレを完備。テレビ、冷蔵庫は自由に持ち込み頂いています。個人別専用の収納家具を備えています。部屋の決定は、本人・ご家族の意向を尊重しますが、お体の状態等により希望に添いかねる事もあります。
外出などの自由	面会時間は基本午前8時から午後8時です。夜間は宿直者が午後10時までおりますので柔軟に対応させて頂いています。面会簿に記入してもらっています。届出をして頂いたら自由に外泊・外出していただけます。
身体拘束・虐待防止対策	身体拘束廃止委員会を設置しており、原則、身体拘束はしません。ベットの転倒防止策としてセンサーマットを使用しています。緊急やむを得ない状態の時は、マニュアルに基づき期間を定め同意をいただいた上で実施することもあります。虐待防止は、施設方針としても研修を徹底し職員周知を図っています。
食事	管理栄養士が献立を作成しており食堂に掲示しています。年2回以上嗜好調査を行い献立に反映しています。咀嚼、嚥下能力に応じ普通食、キザミ、極キザミ、軟菜、ペースト食、栄養補助食品を提供しています。2ヶ月に1回栄養会議を設け見直しを行っています。四季折々に様々な施設行事を実施し行事食を楽しんで頂いています。
入浴	入浴日は週2回で一般浴、車椅子浴、特殊浴を完備しています。脱衣室と浴室の室温差をなくしており完全にバリアフリーです。一般浴はスロープになっており、見守りも充分で伝え歩きの方も入浴し易く作っています。安全と清潔を保ち利用者様に安心感と安らぎをもって頂けるようスペースを広くとっています。
排泄ケア	おむつ交換専用室完備。個々の排せつパターンを理解しトイレ誘導をしています。日中は、自立を促すトイレ誘導が多く行い、陰部シャワーで皮膚疾患を考慮し清潔保持に努めています。夜間は、吸水性の優れたパットを利用し睡眠時間の確保を優先される方もおられます。
医療体制	嘱託医:週1回往診。精神科医:月2回往診。 協力病院:ゆうこう病院、川崎病院 協力歯科:村岡歯科 入院治療を必要とする利用者のために密に連絡及び調整をしています。 緊急の場合は、スタッフ付添いで対応し家族の方と連絡をとり病院へ行く旨同意を得ます。入所者のご状態は随時連携を図っています。
ターミナルケアの実施	<input type="checkbox"/> 積極的に行う <input checked="" type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない ご本人・ご家族の意向を随時確認し、医師・看護師・介護職とのカンファレンスを開催し、慎重に対応させて頂いています。
認知症ケア	精神内科医の嘱託医が月2回往診。認知症症状緩和が行えるよう医師、看護師、介護職員と日々継続した連携を取っています。
アクティビティ	介護予防の一環として、利用者の個々の趣味芸術を実施しています。毎月第2週の7日間は生花や造花づくりを開催しています。ボールゲームなどのスポーツレクリエーションなどにも取り組んでいます。

特別養護老人ホーム パーマリィ・イン中道

総合評価

- ◎ 解放的な吹き抜けのお部屋の中でゆったりとした生活リズムで過ごされていました。全般的には非常に良く整理整頓されていて掃除も綺麗でした。
- ◎ 地域密着型介護老人施設として地域の高齢者コミュニティの核として積極的にボランティアの受け入れをされ、心の通い合う交流広場を提供され素晴らしいです。実習生、ボランティアの受け入れ指針を策定されたらさらに良いと思います。
- ◎ サービスも多様化していて、特別養護老人ホーム、ショートステイ、ホームヘルプ、居宅介護支援事業、地域包括支援センター等を行っていて幅広くサービスを提供しています。
- ◎ 高齢化時代に欠かすことの出来ない3つの機能（高齢者介護支援センター、特別養護老人ホーム、シルバー住宅）が一体化した当福祉拠点は市の福祉計画と震災復興計画のもとに、神戸市と住宅公団による共同事業として、平成10年12月に誕生いたしました。神戸市立中道小学校の跡地を利用して高齢者福祉の拠点として、地域の皆様に親しまれ、地域と共に共生する、暖かいふれあい広場として活躍されています。がっしりとした建物は震災、天災にも強いと思われれます。さすが震災後の老人福祉施設であるとは一見して判ります。

特筆すべき項目・取り組み

- ◎ この施設は都会の中心にあり、交通の便もよく、掃除も行き届いていて全体的に良い雰囲気での施設でした。震災後の復興計画によって建設されたので非常に頑丈な造りで内部は廊下の端々に二重の手すりをつけてあり安心して歩行できると思われました。
- ◎ また特に良いと感じた事は、食卓机に車椅子が入るように削られていて食事のときは安定して食事が出来ると思われました。また1階はデイサービス、2階が特養の設備であり、デイサービスを受けていて少し身体が弱ってくると特養に移るシステムは良い考えであると思われれます。
- ◎ 3つの機能(高齢者介護支援センター、特養、シルバー住宅)と本当に老人にとって必要不可欠の設備であると思われました。理想の住まいです。このような一体化の住宅にすべての施設がこのような機能を持つことが望ましいと思いますが、まだまだ施設に入れられない方が沢山いらっしゃるからあくまで理想の設備であると思われれました。ホームページにもよく記載されて判りやすく説明されていて良かったと思われました。地域一体化の福祉事業に貢献されることを希望いたします。

改善が必要な項目・ポイント

- ◎ 管理職は積極的に役割と責任に取り組んでいるが、自己評価や仕事に対する評価を行う仕組みがなされていない。ターミナルケアに関して施設の方針の策定、研修、データの蓄積、外部発信などは行われていない。ボランティアや実習生の受け入れについて施設の基本姿勢の明文化、受け入れマニュアルや研修をされていない。サービス向上のために外部の専門家と定期的にアドバイスをもらう機会や具体的な方策を実行されていない。

外部評価結果に対する施設の見解

この度、当施設が神戸市老人福祉施設連盟第三者評価を受審し、訪問調査員から総合的な所見を頂きました。頂きました所見を当施設で検討を行った結果は以下の通りです。

指摘頂きました点への対応のみならず、人材育成、安定した経営、サービスの質の向上をめざし奮闘していくこととします。

施設名 パーマリィ・イン中道

記入者 施設長

当施設の見解

施設に対する良い点、優れている点については、高評価を頂いたことは、有り難く感じています。しかし、その一方では、施設に対して改善をして欲しい点、気になる点等についても同数のコメントを頂いており、特に職員の入れ替わることについての記述が多くありました。また少数ではありますが、施設とのコミュニケーションが図れていないような回答もありました。これらのことにより、ご利用者・ご家族と築き上げた関係を職員の入れ替わりにより、再構築出来ていない状況が考えられます。

新人職員を教育していく必要性とともに、それらを指導する立場である職員の育成が求められると考えます。外部の研修会への積極的な参加を行い、知識・技術の向上とそれらを活かしていけるよう取り組みを行ってまいります。